

令和7年度 取組事例のご紹介

第7回 安倍川水系流域治水協議会

令和8年3月9日

<氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策>

■雨水貯留浸透施設の整備推進

- ・井宮北小学校の雨水貯留施設整備 **工事実施中**

<被害の軽減、早期復旧・復興のための対策>

■危機管理型水位計設置による支川の水位情報の提供

- ・（一）小豆川、（準）内宮川に設置

■排水ポンプ車導入による柔軟な運用態勢の検討

- ・被害軽減対策強化のため機動的に運用可能な排水ポンプ車を導入、令和7年度中運用開始予定

<流域治水 × グリーンインフラの取組>

■小中学校などにおける河川環境学習（うしづま水辺の楽校）

- ・夏休み期間中、地域のボランティア団体「水辺の楽校世話人会」の運営で開催
- ・安倍川の自然や川の危険性などを子どもたちに伝える、河川環境学習の場として活用
 - ・ **7月21日～8月24日**のうち、16日間開校⇒ 開校期間中の利用者数 約6,810人
 - ・平日には市立賤機中小学校の校外学習や放課後児童クラブでも活用
 - ・河川管理者・市・地域の連携による「水辺利用調整協議会」を組成
 - ⇒ 令和6年6月に「都市・地域再生等利用区域」に指定
 - ⇒ 地域主体による取組みが評価され、令和6年度「かわまち大賞」を受賞



高水敷内に整備したワンド部の様子

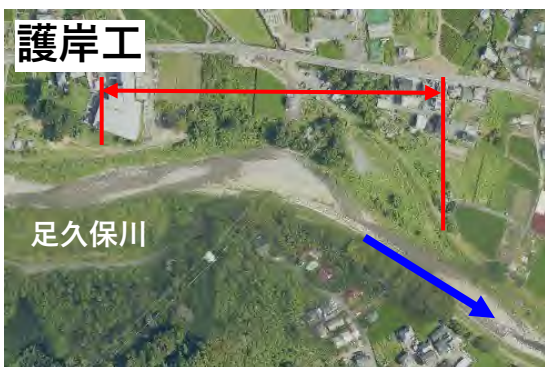
■水辺空間の賑わい創出（安倍川ルネサンス計画）

- ・田町親水公園・安倍川公園でのイベント出店者募集中（**R9.3**まで）
- ・**R7.8月**から11月までの期間に、**毎月1回以上のマルシェ等のイベントを実施**

静岡土木事務所では、安倍川流域治水プロジェクトに位置付けられた、「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」として、安倍川指定区間における、市街地等を守る護岸整備など、国土強靱化5か年加速化対策により実施している。令和7年度は、護岸整備および河道掘削を実施した。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○護岸整備等 (工事)



○河道掘削

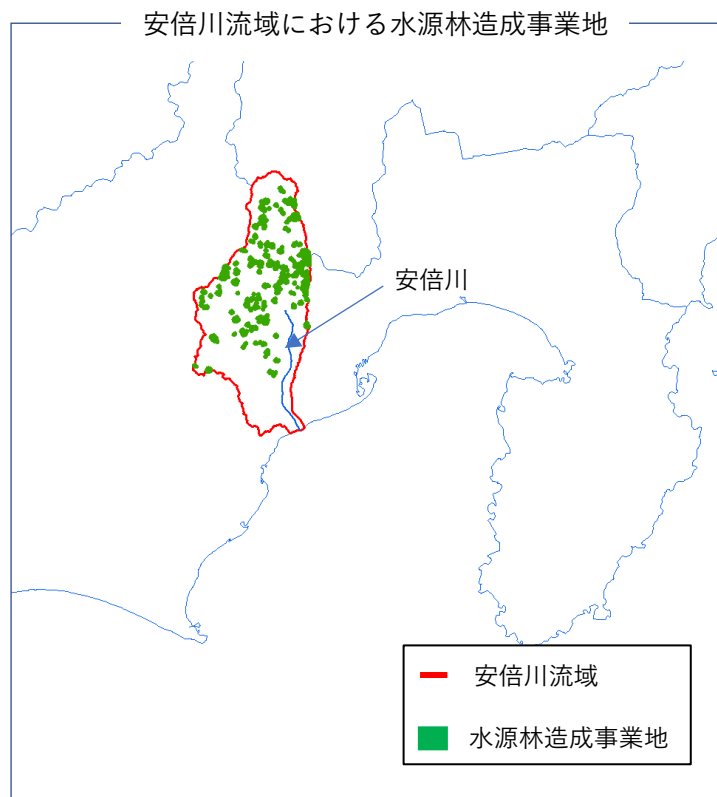
・足久保川・丸子川・飯間谷川



氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■ 水源林造成事業による森林の整備・保全

- ・ 水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
- ・ 水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- ・ 安倍川流域における水源林造成事業地は、約190箇所（造林地面積 約1,600ha(契約面積約2,200ha)）あり、新植、下刈り、除伐・間伐等の森林整備を計画的に実施しています。➡ 令和7年度実績 除間伐等 122ha実施



水源林の整備(イメージ)



針広混交林



育成複層林

混み入った人工林で間伐を実施(イメージ)



間伐前



間伐後



○ 防災気象情報の改善に関する取組

令和8年出水期以降の防災気象情報の体系整理による情報改善に向けて、新情報への円滑な移行ができるよう静岡県内の自治体等に説明を行った。

なお、新しい防災気象情報では、以下の変更・改善により、受け手側の立場に立った情報となる予定。

- 5段階の警戒レベルにあわせて、情報体系及び名称を整理
- 警戒レベル4に相当する「レベル4〇〇危険警報」の新設

発表単位	洪水等に関する情報			土砂災害に関する情報	高潮に関する情報
	洪水予報河川、水位周知河川の外水氾濫	その他河川の外水氾濫、漏水型内水氾濫	内水氾濫	市町村ごと	沿岸ごと又は市町村ごと
警戒レベル4相当情報	5 氾濫発生情報	—	大雨特別警報	大雨特別警報	高潮氾濫発生情報
<警戒レベル4までに必ず避難>					
4	氾濫危険情報	—	—	土砂災害警戒情報	高潮特別警報、高潮警報
3	氾濫警戒情報	洪水警報	大雨警報(漏水警報)	大雨警報(土砂災害)	警報発出以外の可能性が高い高潮注意警報
2	細粒降雹情報	粗粒降雹情報	大雨注意警報	土砂災害警戒情報	高潮注意警報
発表単位	洪水に関する情報「洪水危険度」	大雨に関する情報「大雨危険度」 内水氾濫及び左記以外の河川の外水氾濫		土砂災害に関する情報「土砂災害危険度」	高潮に関する情報「高潮危険度」
	河川ごと	市町村ごと	市町村ごと	市町村ごと	沿岸ごと又は市町村ごと
警戒レベル4相当情報	5 レベル5氾濫特別警報	レベル5大雨特別警報	レベル5土砂災害特別警報	レベル5高潮特別警報	
<警戒レベル4までに必ず避難>					
4	レベル4氾濫危険警報	レベル4大雨危険警報	レベル4土砂災害危険警報	レベル4高潮危険警報	
3	レベル3氾濫警戒警報	レベル3大雨警戒警報	レベル3土砂災害警戒警報	レベル3高潮警戒警報	
2	レベル2細粒降雹警報	レベル2大雨注意警報	レベル2土砂災害注意警報	レベル2高潮注意警報	

現行

※令和8年出水期以降の予定
改善後

○ 地域住民の防災意識向上のための取組

引き続き、静岡の自治体等にワークショップや出前講座等の講演を通して、防災意識向上のための普及・啓発を行った。



○ 迅速かつ的確な避難行動のための取組

引き続き、静岡県内の自治体等に、キキクル等の防災気象情報の利活用方法を周知広報した。

静岡森林管理署における国有林野内直轄治山事業の取り組み

● 安倍川最上流部の梅ヶ島国有林内において、多くの崩壊地が存在していることから、山腹崩壊地の復旧及び崩壊地から生産された土砂の流出防止を図るため、計画的に治山事業の取り組みを進めている。

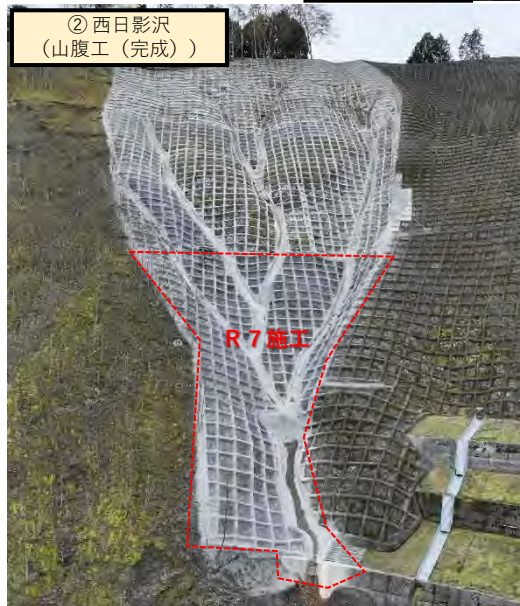
● 令和7年度は荒廃渓流に治山ダム工0.5基と崩壊地の復旧として、山腹工1箇所を実施している。

【治山ダム工：L=38m H=14m V=1,960m³】 【山腹工：0.15ha 主な工種 簡易法枠工】

令和8年度については、引き続き山腹工2箇所を予定している。



① ヨモギ沢地区
(復旧状況)



② 西日影沢
(山腹工(完成))

② 支流サカサ川
(治山ダム工(完成))



安倍川・安倍川砂防 令和7年度整備箇所

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策



河川関係

○直轄管理区間 安倍川 (22.7km)、藁科川 (8.9km) において、洪水氾濫から地域の安全・安心を確保するため、河川改修・維持管理を実施しています。

R7末時点の実施内容

- 洪水安全に流下させるために、下川原地区で河道掘削の実施します。
- 与左衛門新田地区にて低水護岸の整備、下川原地区にて低水護岸の災害復旧工事を実施します。

表 堤防の整備状況 (令和7年度末時点)

	堤防必要区間 延長(km)	計画断面堤防区間		暫定断面堤防区間	
		延長(km)	率(%)	延長(km)	率(%)
策定時	52.1	32.3	60.0	14.1	26.0
現況		41.0	78.7	11.1	21.3

砂防関係

○玉機橋 (約23kp地点) より上流の流域において、大谷崩等からの土砂災害を防止するため、砂防堰堤の施設整備・改築を実施します。

R7末時点の実施内容

- 大谷崩にて土砂流出対策のため山腹工を実施します。
- 有東木地区にて新規堰堤の管理用道路等の整備を実施します。
- 既設堰堤 (3基) にて老朽化対策・健全度対策・流木対策を図るための堰堤改築 (アンカー工) を実施します。



令和8年度以降の取組

国直轄の全区間においてS54.10月洪水 (戦後最大規模) を安全に流下できるよう、堤防整備・河道掘削を引き続き実施します。

□ 水防災学生サポーター制度の活用

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 静岡県立駿河総合高等学校の2年生を対象に、静岡大学と静岡河川事務所が連携して作成した教材を元に大学生が作成したスライド等を使用し、11月に水防災授業が行われました。授業では安倍川沿川の水災害リスクと地域条件の情報をもとに、水災害発生時の地域ごとの課題や解決策を考えました。
- 水防教育を通じて、子供たちの水防災意識の形成と主体的に避難行動をとれる人間を育成し、地域全体で水防災意識をもつことを目指します。

高校生向け水防災教育テキスト

地理総合



静岡地域・志太権原地域大規模氾濫減災協議会
RS-10版



授業の様子

テキストは駿河総合高校の先生や静岡大学の教授・学生の意見を取り入れて作成されています。



令和8年度以降の取組

- 静岡大学や要望のあった学校側と調整し、水災害学生サポーター制度を活用した授業の普及により、地域の水防災意識の向上を図ります。

※水防災教育学生サポーター制度：水防災教育授業に、教員補助や生徒への助言等のサポーターとして、学生を派遣することにより、水防災教育の導入にあたっての教員負担を軽減し、普及・拡充を促進することを目的とし、令和3年9月に創設。

□ 二線堤の維持管理

被害対象を減少させるための対策

- 二線堤は、氾濫流の下流域への拡散を防止し被害を軽減させる機能を有しているため、巡視などを通じ適切な維持管理に努めている。
- 二線堤に設置された13箇所の陸閘については、緊急時に備え確実に閉鎖できるよう、年1回静岡市と協同して操作訓練を行っている。



巡視による二線堤の点検(安西堤)

10月15日深夜から16日未明、10月16日深夜から10月17日未明にかけて、道路の通行止めを行い、4つの陸閘（井宮陸閘、秋山陸閘、籠上陸閘、松富陸閘）の陸閘操作訓練を実施



操作訓練の様子(井宮陸閘)



操作訓練の様子(籠上陸閘)

令和8年度以降の取組

引き続き、二線堤の機能を維持できるよう点検・訓練を実施して参ります。

□ 安倍川大規模土砂災害合同防災訓練を実施

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 地震により安倍川上流域で大規模土砂災害が発生した場合を想定し、それぞれの関係機関の円滑な連携や局面に応じた判断力の向上を目指し、被害の軽減を図ることを目的に訓練を実施しました。

訓練参加機関：静岡市、静岡県、国土交通省



訓練の様子

被害想定

・台風による降雨の影響により、静岡市北部地域において深層崩壊の発生に伴う河道閉塞（天然ダム）の発生や、各所で地すべりやがけ崩れ等の同時多発的な土砂災害が発生した場合を想定。

訓練内容

・3つのステージに分け進行役が災害シナリオに基づいて状況付与を行った上で質問を投げかけ、訓練参加者に回答を求める質疑応答型。
ステージ0:情報収集・初動体制の確立・警戒避難の実施
ステージ1:土砂災害発生箇所・被害状況の把握
ステージ2:緊急調査・応急対応の実施

令和8年度以降の取組

安倍川流域内で大規模土砂災害が発生した場合に備え、関係機関が円滑に連携した対応ができるように、引き続き合同防災訓練や勉強会を実施する。

□ 重要水防箇所合同点検の実施

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 流域の水防団・消防団及び関係行政機関と合同で重要水防箇所の点検を6月に実施。

＜参加機関＞

静岡県中部地域局、静岡市、静岡地方気象台、静岡河川事務所（約20名）



重要水防箇所 左岸1.25km
(静岡市駿河区中島)



重要水防箇所 右岸1.0km
(静岡市葵区牧ヶ谷地区)

重要水防箇所の一覧は、静岡河川事務所HPで確認できます。

(<https://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/bousai/suibu/>)



重要水防箇所 右岸2.0km
(静岡市葵区産女地区)

令和8年度以降の取組

出水期前に重要水防箇所を確認し水害リスク等を共有することで、迅速な防災体制の確保に努めて参ります。